



422 京都にいる間に、私たちは清水寺を訪れて写真をたくさん撮った。

() in Kyoto, we visited Kiyomizu-dera Temple and took lots of pictures.

Tip 主節の主語と文頭の副詞節の主語が同じ(we)。〈S'+be動詞〉を省略すると?

423 この町で夜10時以降に開いている店は、たとえあるとしても、ほとんどない。

There are few, ()(), stores open after ten o'clock at night in this town.

Tip 数や量について「たとえあるとしても」を表す定型表現は?

424 私は、たとえあるとしても、めったにコーヒーを飲まない。

I seldom, ()(), drink coffee.

Tip 頻度について「たとえあるとしても」を表す定型表現は?

422 427 サラは辛いものが苦手だ。どちらかと言えば、マイルドな味を好む。

Sara doesn't like spicy food. ()(), she prefers mild flavors.

Tip 「どちらかと言えば」を表す定型表現は?

426 長編小説とまではいかなくても、短編小説は英語で読んでみるべきだ。

You should try to read short stories, ()()(), in English.

Tip 「長編小説とまではいかなくても → 長編小説でないとしても」

427-1 私はいつもカフェでラテを注文するのですが、妹もそうです。

I always order a latte at cafés, and ()() my ().

Tip 「Sもまた…する」を表す、倒置形の定型表現は?

427-2 「ベイエリアのアウトレットモールに行ったことがある。」

「私も行ったことがある。」

“I've been to an outlet mall in the Bay Area.” “()()() .”

Tip 「Sもまた…したことがある」を完了形の倒置形で表す。

422 While [When] in Kyoto, we visited Kiyomizu-dera Temple and took lots of pictures.

▶ when, while, if, though, once (いったん…すると)などの接続詞で導かれる副詞節において、副詞節の主語(S')が主節の主語(S)と同じとき、〈S'+be動詞〉を省略することができる。While [When] (we were) in Kyoto, ... の we were の省略。

423 There are few, if any, stores open after ten o'clock at night in this town.

if any ①「もしあれば」②「(数や量が)たとえあるとしても」
▶ if には「たとえ～としても」を意味する省略形の定型表現がある。→ File53
この文の if any は「たとえ店があるとしても (= if there are any stores)」の意味。if any の前か後、あるいは両方にコンマ(,)を付けることが多い。

424 I seldom, if ever, drink coffee.

if ever 「(頻度が)たとえあるとしても」
Tip <seldom, if ever> <rarely, if ever> 「たとえあるとしても、めったに…ない」の形で使う。
→ 403-1

425 Sara doesn't like spicy food. If anything, she prefers mild flavors.

if anything 「どちらかと言えば、むしろ」
▶ この意味で if anything を使うときは、if anything の前か後、あるいは両方にコンマ(,)を付けることが多い。

426 You should try to read short stories, if not novels, in English.

if not A 「Aでないとしても」— A には、名詞・形容詞・副詞がくる。
 novel 「(長編の)小説」— short story 「短編小説」

427-1 I always order a latte at cafés, and so does my sister.

F 176 ▶ 平叙文の語順は〈主語+助動詞[be動詞]〉(S+V)だが、逆の〈助動詞[be動詞]+主語〉(V+S)の語順(倒置と呼ばれる)にして行動や事実の共通性を強調することがある。この文では〈so + do [does] + S〉の形で「(私だけでなく)妹もまたそうだ」と、(私と)妹の共通性を強調している。この do は order の代わりをする代動詞。latte は不可算名詞だが「(~杯の)ラテ」の場合は可算名詞扱いする。
 So + 助動詞[be動詞] + S (...) 「Sもまた…する[である]」

427-2 “I've been to an outlet mall in the Bay Area.” “So have I.”

▶ 完了形の場合は〈So + have + S (...)〉の語順。完了形の have は助動詞。
→ 427-1

File 53 ifを使った慣用的な省略

- if possible 「もし可能なら、できれば」 if necessary 「もし必要なら」
- if so 「もしそうなら」 if done 「もし～されたら」
- if not A 「Aでないとしても」 if any 「(数や量が)たとえあるとしても」
- if anything 「どちらかと言えば、むしろ」
- if ever 「(seldom/rarelyなどの後で、頻度が)たとえあるとしても(めったに…ない)」

428-1 「映画の結末がわからなかった。」「私もわからなかつた。」

□□□ “I didn’t understand the ending of the movie.” “() () ().”

Tip 「Sもまた…ない」を表す、倒置形の定型表現は?

428-2 「海外へ行ったことがない。」「私もないです。」

□□□ “I’ve never been abroad.” “() () ().”

Tip 「Sもまた…したことがない」を完了形の倒置形で表す。

429 学校でのいじめは、生徒だけで取り組むには難しそうな問題だ。

□□□ Bullying in schools is () () (i) for students to tackle alone.

Tip 「～すぎるA、あまりにも～なA」を表す定型表現は? 語順に注意する。

430-1 彼はお金持ちだけれども、いつもディスカウントストアで買い物をする。

□□□ (R) () () (), he always shops at discount stores.

Tip 形容詞で文を始める倒置形の表現。「…だけれども」を表す。

428
433

430-2 夏は好きだけれど、この暑さには耐えられない。

□□□ (M) () () summer, I can’t stand this heat.

Tip 「…だけれども」を表す倒置形の表現。muchで文を始める。

431 最近になって初めて電子マネーの便利さに気がついた。

□□□ (O) () () (r) the convenience of electronic money.

Tip 「A(副詞)で初めてSは…」を表す、倒置形の定型表現を使う。

432 まさかここで君に会えるとは思ってもみなかつた。

□□□ () () () (e) to see you here.

Tip 否定語を文頭に置いて、否定の意味を強調する倒置形。
否定語の後の語順に注意。

Self Check

433 私の大好きなバンドが、私の街でライブをするなんてまったく知らなかつた。

□□□ (L) () () (k) my favorite band () be performing live in my city.

Tip 「S’が…するなんて(Sは)まったく知らなかつた」を表す、倒置形の定型表現。

428-1 “I didn’t understand the ending of the movie.” “**Neither [Nor] did I.**”

F 176 □ **Neither + 助動詞 [be動詞] + S (...)** } 「Sもまた…ない」—否定語が文頭
Nor + 助動詞 [be動詞] + S (...) } 「Sもまた…ない」—否定語が文頭

428-2 “I’ve never been abroad.” “**Neither [Nor] have I.**”

► 完了形の場合は〈Neither [Nor] + have + S (...)〉の語順。完了形の have は助動詞。否定語を文頭を持ってくることで「～でない」という否定の意味を強調。

429 Bullying in schools is **too difficult an issue** for students to tackle alone.

□ **too + 形容詞 + (a/an) + A(名詞)** 「あまりにも～な A、～すぎる A」

○ **bullying** 「いじめ」

○ **issue** ①名詞「問題、発行」②動詞「～を発行する」

430-1 **Rich as he is**, he always shops at discount stores.

□ **C’(形容詞など) + as S’+V’** 「…だけれども」 = **Although S’+V’+C’(形容詞など)**

⊕ 文頭に as が付いて **As+C’(形容詞など)+as S’+V’** になることもある。

= **As rich as he is**, he always shops at discount stores.

430-2 **Much as I like** summer, I can’t stand this heat.

□ **Much as S’+V’** 「…だけれども」

= **Although S’+V’**

431 **Only recently have I realized** the convenience of electronic money.

= **Only recently did I realize** the convenience of electronic money.

□ **Only + A(副詞[句/節]) + 助動詞 [be動詞] + S ...** 「Aで初めてSは…」

○ **electronic money** 「電子マネー」 ⇔ **cash** 「現金」

432 **Never [Little] did I expect** to see you here.

► **否定語を使った倒置**。never(一度も～ない、決して～ない), hardly(ほとんど～ない)などの否定語を文頭に置いて、「～ない」という否定の意味を強調する。littleは文頭にくると「まったく～ない」の意味になる。→ File54-p.198 否定語の後は〈疑問文〉と同じ語順にする。倒置や疑問文で使う do/does/did は助動詞。

I have never seen such a beautiful sight.

①否定語を文頭に置く。 (こんなに美しい光景は見たことがない。)

Never have I seen such a beautiful sight.

②(主語+(助)動詞)の語順を、〈疑問文〉と同じ語順にする。

⊕ **Never did S expect [think] that S’ did ...** 「S’が…するとは思っていなかった」

433 **Little did I know that** my favorite band **would** be performing live in my city.

□ **Little did S know that S’ did ...**

「S’が…するなんて(Sは)まったく知らなかつた」

► **know**を使ったこの構文では、Never did ... よりも Little did ... のほうが一般的。littleは、know, expect, understandなどの思考を表す動詞を伴って文頭にくると、「まったく～ない」の意味になる。

434-1 彼は読書を楽しむだけでなく、物語を書くことも楽しむ。

Not reading books, writing stories.

Tip 「Sは…するだけなく～も」を表す、倒置形の定型表現は?

434-2 彼女は英語だけでなく、中国語も習っている。

Not English, she is learning Chinese.

Tip 「Sは…するだけなく～も」を表す倒置形。「～している」なので進行形にする。

435 家を出るとすぐ、大雨が降り始めた。

(N)()(h)() the house()()() raining heavily.

Tip 「Sが…するとすぐ、S'は～した」を表す、倒置形の定型表現。

436 彼女が料理を終えた途端、招待客が家に到着した。

(H)()()() cooking() guests() at her house.

Tip 「Sが…した途端、S'は～した」を表す、倒置形の定型表現。

434
437

437-1 ケンが毎週末、友人たちとしているのはフットサルだ。

()() futsal() Ken plays every weekend with his friends.

Tip 「…するのはAだ」を強調構文で表す。

437-2 あなたがこの夏に訪れる予定なのはサンディエゴですか。

()() San Diego() you plan to visit this summer?

Tip 「…するのはAですか」を強調構文の疑問文で表す。

File 54 倒置で使う主な否定表現

- Never V+S ... 「Sは一度も〔決して〕…ない」
- Neither V+S (...) = Nor V+S (...) 「Sもまた…ない」
- Little V+S ... 「Sはまったく…ない」
- Hardly V+S ... = Scarcely V+S ... 「Sはほとんど…ない」
- Rarely V+S ... = Seldom V+S ... 「Sはめったに…ない」
- Not only V+S ... 「Sは…だけでなく」
- Not until V+S ... 「…までSは～ない」
- Not once V+S ... = At no time V+S ... 「Sは一度も…ない」
- On no account V+S ... = In no sense V+S ... 「Sは決して…ない」
- Under no circumstances V+S ... 「Sはどんな状況でも…ない」

434-1 Not only does he enjoy reading books, but he (also) enjoys writing stories.

Not only + 助動詞 [be動詞]+S ... but also ~「Sは…するだけでなく～も」

▶ also は be動詞・助動詞の後、一般動詞の前に入れる。動詞がなく名詞や形容詞がくる場合は〈but also + 名詞など〉の語順にする。also は省略されることもある。

434-2 Not only is she learning English, but she is also learning Chinese.

▶ Not only の後、is を主語 she の前に出して倒置形にする。

→ 434-1

435 No sooner had I left the house than it started raining heavily.

No sooner had S done ... than S' did ~「Sが…するとすぐ、S'は～した」

▶ S'の行為よりも先に(直前に)、Sの行為が完了したため過去完了形になる。

436 Hardly had she finished cooking when [before] guests arrived at her house.

Hardly [Scarcely] had S done ... when [before] S' did ~

「Sが…した途端、S'は～した」

▶ S'の行為よりも先に(直前に)、Sの行為が完了したため過去完了形になる。

437-1 It is futsal that Ken plays every weekend with his friends.

F 172 ▶ It is と that の間に名詞(句・節)や副詞(句・節)を入れて強調する構文を

強調構文と呼ぶ。→ VI24-p.9, Grasp24

It is A that ... 「…するのは A だ」

①「人」を強調する場合は It is A who ... の形にすることが多い。→ Grasp24

437-2 Is it San Diego that you plan to visit this summer?

Is it A that ...? 「…るのは A ですか。」

▶ 強調構文の疑問文。→ 437-1

438 いつも電気を消し忘れるのは誰?

() () () (t) keeps forgetting to turn off the lights?

Tip 「…するのは～ですか」の「～」に疑問詞を使う強調構文。

439 ケーキが失敗したのは、レシピ通りにしなかったからだ。

() () () I didn't follow the recipe () my cake failed.

Tip 「～なのは…だからだ」を表す強調構文を使う。

440-1 そのコンサートに行かなかったことを本当に後悔している。

I () () not going to the concert.

発展 Tip 動詞を強調するにはどうする?

440-2 昨日、確かに公園でケンを見かけた。

I () () Ken in the park yesterday.

Tip 過去の行為や出来事を強調するときはどうする?

438
445

441 オーストラリアの首都はいったいどこなのだろう?

() () () is the capital of Australia?

基本 Tip 疑問詞を強調して「いったい(全体)」を表す表現は?

「どこ=where」とは限らない。the capital が「何か(どの市か)」を尋ねている。

442 これはまさに私が図書館で探していた本だ。

This is () (v) () I've been looking for at the library.

発展 Tip 「まさにそのA」を表す表現は?

443 韓国語はまったくわかりません。

-1 I () understand Korean () ().
-2 = I () understand Korean () () ().

Tip 「まったく…ない」を表す2つの表現は?

基本

444 私は決して専門家ではありませんが、このコーヒーは本当においしいと思う。

I am () (n) () an expert, but this coffee tastes really good to me.

Tip 「決して…ではない」を表す表現は?

445 彼女の能力に何の疑いも抱いていません。

I have () (d) () about her ability.

発展 Tip 名詞を使って「何のAも…ない」を表す表現は?

Self Check

Words to Use  regret / earth / doubt

438 Who is it that keeps forgetting to turn off the lights?

A(疑問詞)+is it that? 「…するのは Aですか」

▶ 疑問詞を使った強調構文。It isとthatの間に疑問詞 whoを入れ (It is who that ...), それを疑問文にした形 (Who is it that ...?)。疑問詞 who は3人称単数扱い。

439 It was because I didn't follow the recipe that my cake failed.

It is A(副詞節)+that ~「～するのは A」 → Grasp24-p.199

It is because ... that ~「～なのは…だからだ」× It was since [as] ... that ~

440-1 I do regret not going to the concert.

F 173 do/does + 動詞の原形 「本当に[確かに]～する」

▶ 動詞を強調する場合、助動詞 do/does を動詞の前に置き、動詞は原形にする。

regret not doing 「～しなかったことを後悔している」 ⇌ regret doing

440-2 I did see Ken in the park yesterday.

did + 動詞の原形 「本当に[確かに]～した」

▶ 過去形では did を動詞の前に置いて強調する。動詞は過去形ではなく原形。

441 What on earth is the capital of Australia?

F 173 on earth in the world } 「いったい(全体)」

▶ 疑問詞の直後に置いて疑問詞を強調する。

442 This is the very book I've been looking for at the library.

the very + A(名詞) 「まさにその A」 —この very は形容詞。名詞 A を強調する。

look for A 「Aを探す」

443-1 I don't understand Korean at all.

-2 = I don't understand Korean in the least.

F 173 not (...) at all not (...) in the least } 「まったく…ない、少しも…ない」
= not (...) in the slightest

▶ in the least は形容詞・分詞などがある場合は、その直前に置く。

He's not in the least interested in MLB. (彼はMLBに少しも興味がない。)

444 I am by no means an expert, but this coffee tastes really good to me.

by no means 「決して…ではない」 = not (...) by any means

▶ be動詞と共に使うことが多い。be動詞の後に置く。

taste good 「おいしい」 ⇌ taste bad 「まずい」

445 I have no doubt whatever about her ability.

= I don't doubt her ability at all.

no + A(名詞) + whatever [whatsoever] 「何の A も…ない、まったく…ない」
= not (...) at all

doubt ①名詞「疑い」 ②動詞「～を疑う」 — b は発音しない。